

水と緑の森づくりに関する県民等の意識調査について

これまで取り組んできた森づくりと今後の森づくりの取り組み、森づくり税のあり方について、県民及び企業経営者の意識調査を実施。

1 調査手法等

	県民意識調査	企業経営者意識調査	備考
標本数	2,500	1,000	郵送返送方式
調査期間	11月6～15日	12月1～10日	10日間
回収数	1,366	456	
回収率	54.6%	45.6%	

2 結果概要

- 森づくり税の延長や森づくり事業の継続について、賛成の回答が9割程度を占め、これまでの取り組みに対する評価や事業の必要性の認識が表れているものと伺える。また、野生動物被害などに対する新たな対策や事業の充実を求める声が多く、今後の取り組みに対する期待感も伺える。
- 森づくり税を延長した場合の税額については、個人分、法人分とも現行どおりであるとす意見と増額とする意見がおおむね拮抗しているが、法人分については県民意識調査では増額とする意見がやや多く、企業経営者意識調査では現行どおりとする意見がやや多い。
- 森づくり税を活用した事業の成果等の情報発信についても求められている。

3 各項目の概要

- 「水と緑の森づくり税」の期間の延長について
条件付きを含めて賛成が県民で93.4%、企業経営者で89.9%と高い支持を得た。
- 「水と緑の森づくり税」を延長した場合の個人の負担額について
県民、企業経営者とも約半数が現行どおりとした。一方で、増額との回答も県民で46.1%、企業経営者で39.7%を占めている。
- 「水と緑の森づくり税」を延長した場合の法人等の負担額について
県民では、「増額」との回答が過半数で(53.6%)、うち、「資本金等の額の大きい企業の負担を増やす」とする回答が35.1%と多数を占めた。
一方、企業経営者では、「現行どおり」とする回答が54.6%で、「増額」とする回答は36.0%であった。

○ 「水と緑の森づくり税」の新たな使途について

県民、企業経営者とも新たな対策を行う必要があるとの回答が9割を超えている。しかしながら、税負担が増えないのであればとの条件付きの回答が、県民で64.0%、企業経営者で53.3%と過半数を占めている。

○ 「水と緑の森づくり税」を活用した事業について

全ての事業について、概ね8割が事業の継続や内容の充実を期待している。特に、混交林整備や里山林整備など、多様な森づくりに期待する回答が9割前後と高い。

○ 森林ボランティア活動への参加について

参加経験者の割合は前回の2.0%から大幅に伸びている（県民7.9%、企業経営者20.0%）。一方で、今後の参加について、「参加したい」との回答は5割を上回っているが（県民50.6%、企業経営者65.1%）、前回の約7割から減少し、「参加したくない」との回答が増加している（県民39.7%、企業経営者31.4%）。

○ 森林の現状について

「荒廃が進んでいる」とした回答割合が、県民で38.0%、企業経営者で43.9%となり、前回(H17)の51.7%から減少、「適正に管理されている」が県民で12.9%、企業経営者で16.9%と前回の5.0%から増加したことから、森づくりの取組が進みつつあることを認識されていることが伺える。しかしながら、現状について知らないとする回答は、県民で46.7%あり、森林の現状や森づくりの取組について、より一層、広報する必要性があると言える。

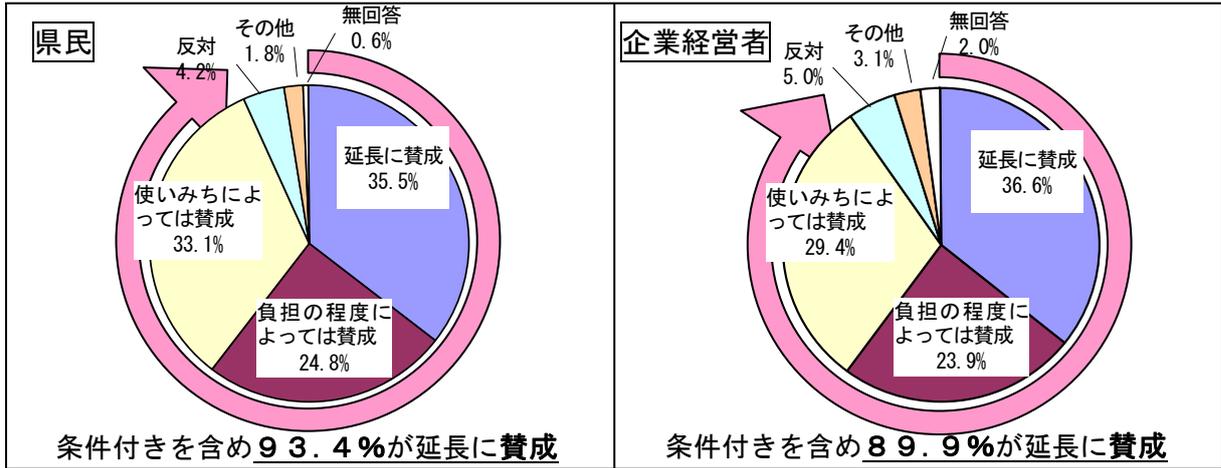
○ 森林に期待する機能について

前回(H17)と同様、山地災害防止（県民71.0%、企業経営者69.1%）、二酸化炭素吸収（県民65.4%、企業経営者67.5%）、水資源かん養（県民47.3%、企業56.6%）が上位を占めたが、今回新たに追加した野生生物との棲み分けの場としての役割に期待する県民の回答も4割を超えた。

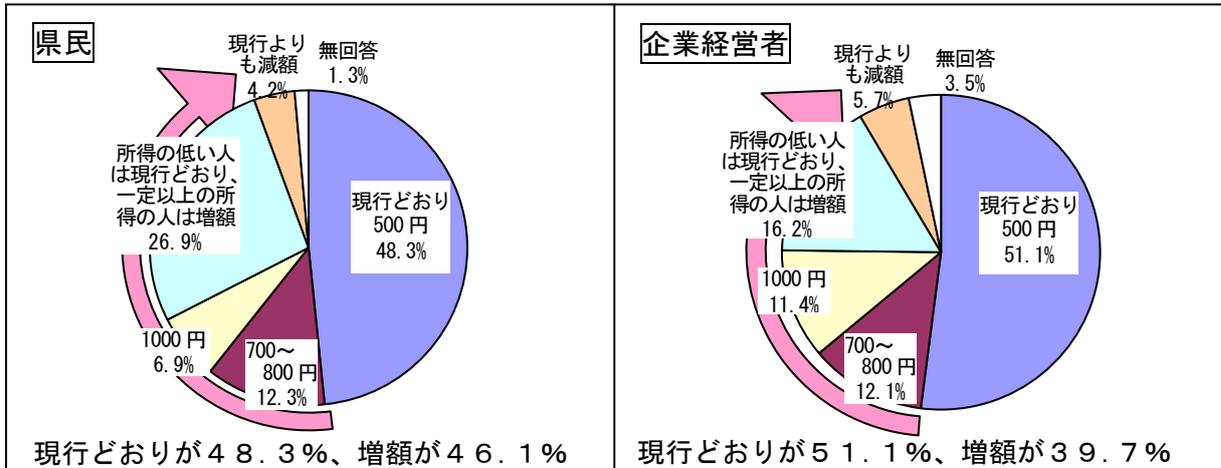
4 主な自由回答から

- 自由回答が301件と多く、森づくりに対する県民の関心の高さが伺える。
- 「水と緑の森づくり税」とその使われ方についての情報発信を求める声が多く（自由回答全体の約36%）、今後より一層、広報活動に力を入れていく必要がある。
- 税の使い途として、里山林整備等の本来の森づくりに力を入れるべきとの意見も見られる。

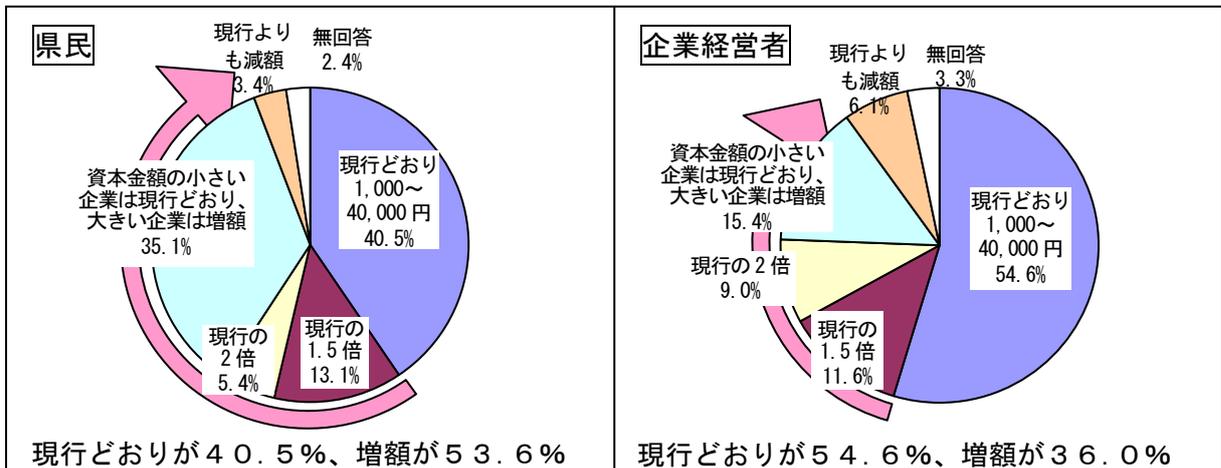
○ 「水と緑の森づくり税（以下、森づくり税という）」の期間の延長について



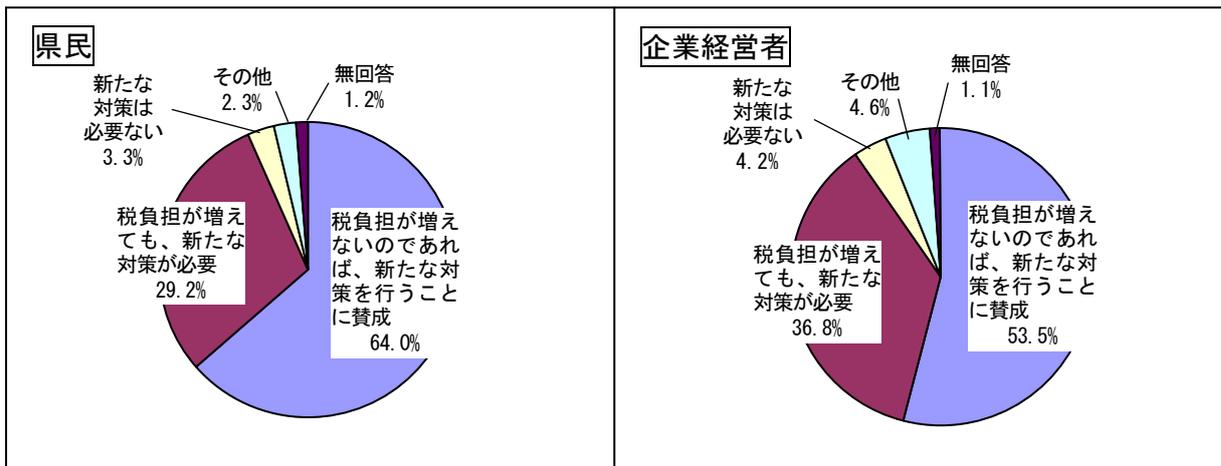
○ 森づくり税の税額について（個人負担額）



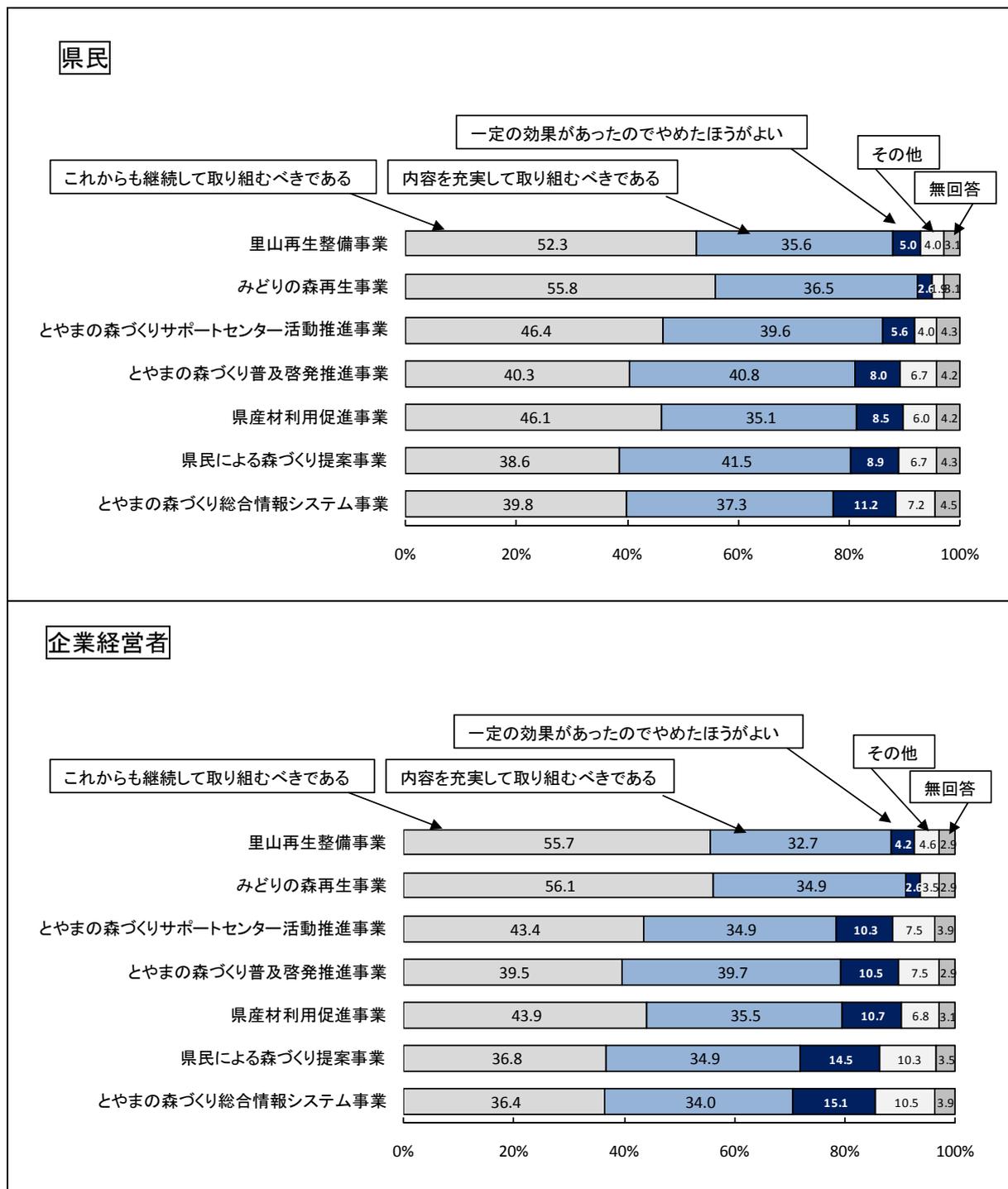
○ 森づくり税の税額について（法人負担額）



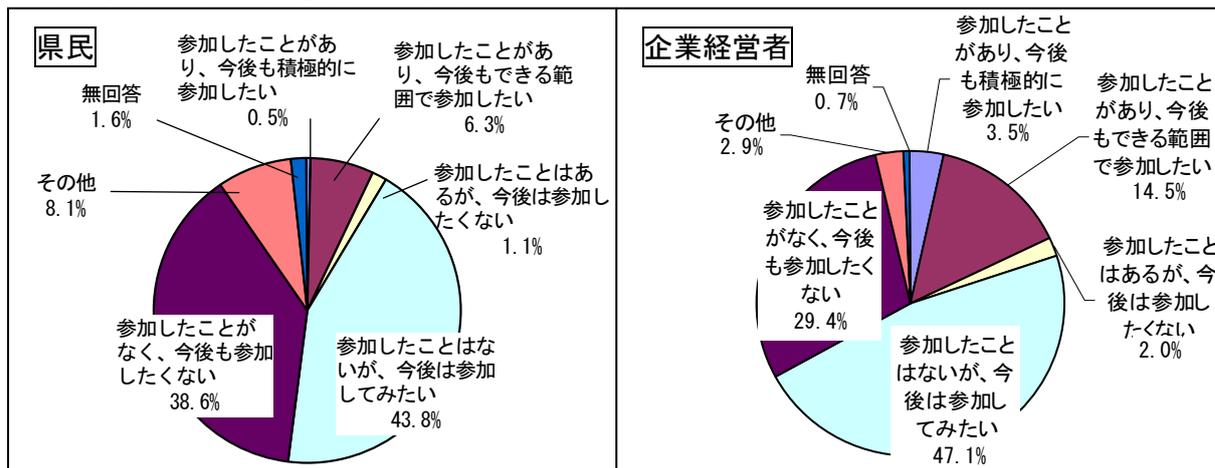
○ 森づくり税の新たな用途について



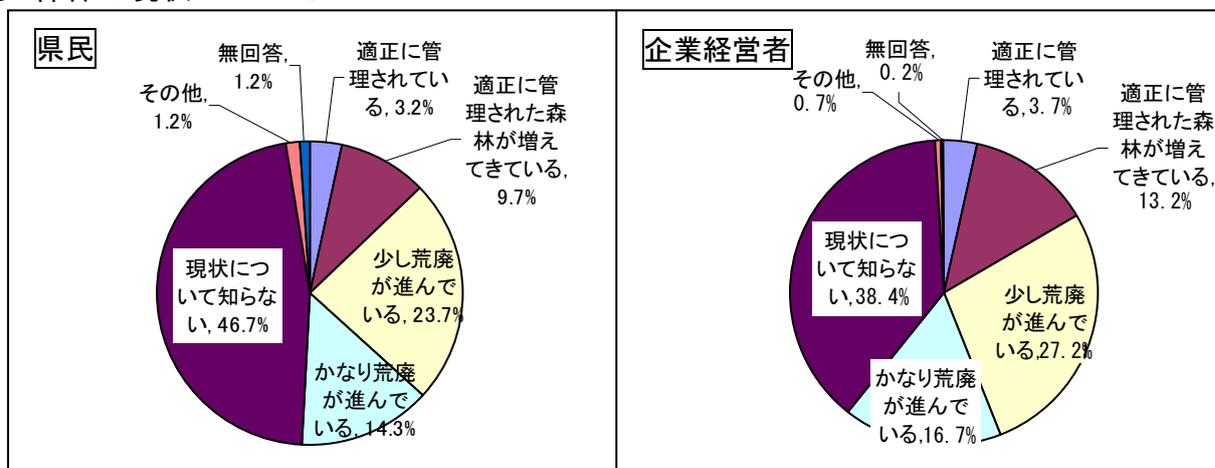
○ 森づくり税を活用した事業について



○ 森林ボランティア活動への参加について



○ 森林の現状について



○ 森林に期待する機能について

